

国際広報メディア専攻

平成23年度
前期

日本語論述

13 : 30～15 : 30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚ある。
- 3 解答用紙（25字×40行=1000字）は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～3 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語（横書き）で解答しなさい。

【問題 1】

日本企業の中にも英語を社内の公用語にする企業の事例が報道されている。英語の社内公用語化の動きがでてきている原因や背景を述べた上で、あなたはこれをどのように考えるか、意見や提言を述べなさい。

【問題 2】

近年、地球温暖化の問題はもとより、海洋汚染や水産資源の枯渇、大気汚染、生物多様性の危機といった環境問題は国境を越えて拡がっており、関係諸国間でどのように環境保全のための協力体制を作り出すかが模索されている。政治体制および経済レベルの異なる国々が合意を形成し、協力していくためには、どのような体制、理念、ルール作り等の方策が必要であろうか。必要に応じて具体的な事例に言及しつつ自由に論じなさい。

【問題 3】

下表は 2009 年の日本の総広告費と媒体別の広告費です。このデータを参考に、日本の広告業界とその周辺で起きていること、また将来の展望についてあなたの考えを述べなさい。

表) 日本の総広告費と媒体別の広告費 (2009 年)

総広告費	5 兆 9,222 億円	前年比 88.5%
新聞広告費	6,739 億円	前年比 81.4%
雑誌広告費	3,034 億円	前年比 74.4%
ラジオ広告費	1,370 億円	前年比 88.4%
テレビ広告費	1 兆 7,139 億円	前年比 89.8%
衛星メディア関連広告費	709 億円	前年比 104.9%
インターネット広告費	7,069 億円	前年比 101.2%
プロモーションメディア広告費*	2 兆 3,162 億円	前年比 88.2%

(出典) 株式会社電通「2009 年 (平成 21 年) 日本の広告費」より

注) *プロモーションメディア広告費は屋外、交通、折込、DM などを含む。